



DLCD ST1 KIT

D-TYPE LCD SPEED & TACHO

instruction manual

- ① まえがき
- ② ご使用上の注意点
- ③ キット内容
- ④ メーター本体の取り付け
- ⑤ 配線接続

⑤-1 配線概要

⑤-2 配線図一覧

⑤-3 RPM信号入力

⑥ 操作方法

⑥-1 表示と機能の一覧

⑥-2 操作方法

ご使用前に必ず説明書をご覧ください。

05-05-0009

DタイプLCDスピード&タコメーター

適合車種	フレームNo.
12Vモンキー	Z50J-2000001～ AB27-1000001～1899999
12Vゴリラ	Z50J-2500001～ AB27-1000001～1899999
モンキーFI	AB27-1900001～
エイブ50	AC16-1000001～1599999
エイブ50FI	AC16-1600001～
エイブ50FI タイプD	AC18-1000001～
エイブ100	HC07-1000001～1599999 HC07-1600001～
エイブ100 タイプD	HC13-1000001～

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

① まえがき

この度は、TAKEGAWA 製品をお買上げ頂き有難うございます。

ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいませ様お願い申し上げます。

取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

○取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

○本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。

○この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

○他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

○商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

○性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

○クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させていただきますが、工賃その他費用は対象となりません。

○この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませ様お願い致します。



注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

○作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンやマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）

○製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）



警告

この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。

（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。

（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

○点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。

（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

○走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）

○走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

（事故につながる恐れがあります。）

○点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

○指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）

○気化したガソリンの滞留は危険性があるため、通気の良い場所で作業を行ってください。

株式会社

SPECIAL PARTS

式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

[TEL] 0721-25-1357(代) [FAX] 0721-24-5059

[お問い合わせ専用ダイヤル] 0721-25-8857

[URL] www.takegawa.co.jp

② ご使用上の注意点

次ページに続く

[ヘッドライトOFFでの走行禁止 / 保安部品を外したレース用車両]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造（断線させるだけ）によりライトOFF状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて（光軸も調整して）下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

レース用車両ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。



- H.I.D.キットには品質によりバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
- 社外品の点火装置及び、イグニッションコイルやプラグコード、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）は悪影響ノイズの増大により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。また、点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。
- 社外品の発電装置は充電力不足によるバッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

◎炎天下での放置にご注意下さい。

長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形の恐れがあります。

◎本製品は完全防水ではありません。

防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。

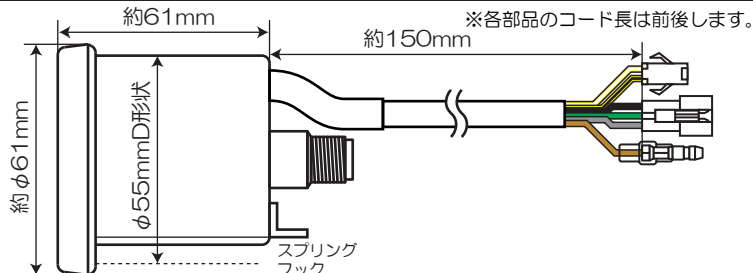
また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生可能性があります。

◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプ、ワイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。

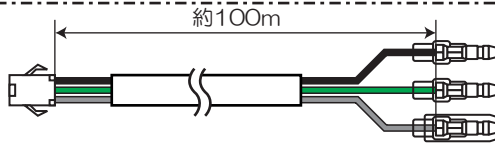
③ キット内容

①メーター本体



②電源サブコード ギボシタイプ

リペアパーツ品番
00-05-0068

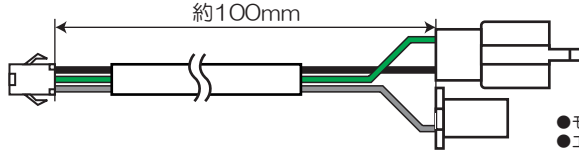


関連ページ ⑤-2

- モンキー・ゴリラ
キャブレター車
- エイブ50キャブレター車
- エイブ100全車

③電源サブコード カブラータイプ

リペアパーツ品番
00-05-0069



関連ページ ⑤-2

- モンキー FI
- エイブ50 FI

④外部スイッチ

リペアパーツ品番
00-05-0070

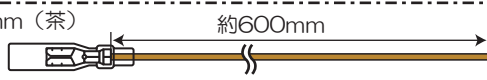


関連ページ ④

関連ページ ⑤-2

⑤RPMコードA 600mm（茶）

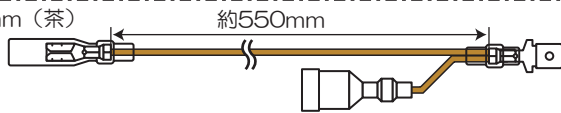
リペアパーツ品番
00-05-0071



関連ページ ⑤-3

⑥RPMコードB 550mm（茶）

リペアパーツ品番
00-05-0072

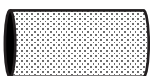


関連ページ ⑤-2

関連ページ ⑤-3

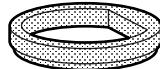
⑦熱収縮チューブφ12X50

リペアパーツ品番
090-00-0057（3個入り）



関連ページ ⑤-3

⑧メータークッション



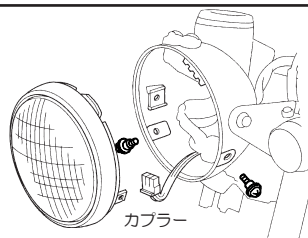
関連ページ ④

④ メーター本体の取り付け

ノーマルメーターの取り外しとLCDメーターの取り付け

スクリュー2本を外しヘッドライトケースからヘッドライトを外して下さい。ヘッドライトカブラーの接続も外して下さい。

- ・プライヤーでケーブルロックナットを回し、スピードメーターケーブルの接続を外して下さい。
- ・メーターから接続されているギボシやカブラーをすべて抜いて下さい。
- ・フックからセッティングスプリングを外すとメーターを上方に取り出すことができます。



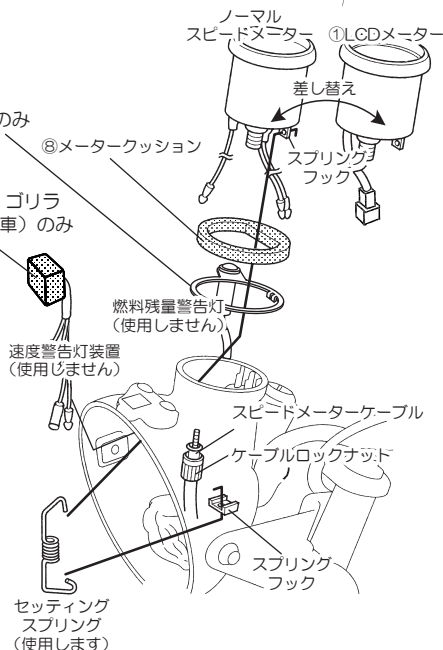
モンキーFIの燃料残量警告灯をLCDメーターに内蔵しています。ノーマルの燃料残量警告灯は必要なくなりますので取り外して下さい。

12Vモンキー・ゴリラ（キャブレター車）の速度警告灯装置は機能しません。4本のギボシを抜き、スクリュー1本を外すと取り外せます。

- ・付属のメータークッションをLCDメーターに取り付け、ライトケースに差し込んで下さい。
- ・セッティングスプリングをフックに引っ掛けて下さい。
- ・ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込んだ事を確認してから、ケーブルロックナットを締めて下さい。
- ・走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けして下さい。

モンキーFIのみ

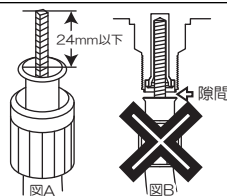
12Vモンキー・ゴリラ（キャブレター車）のみ



本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しております。外品や他車種のケーブルを流用する場合、以下の事に注意して下さい。

ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい（図A）。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。

図Bのように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識出来なくなってしまいます。

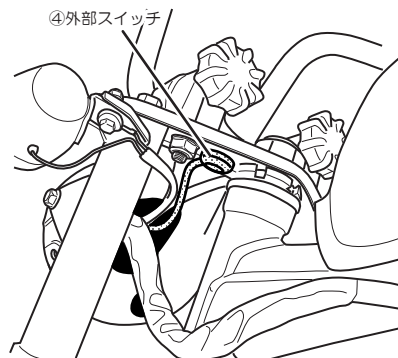


外部スイッチをトップブリッジ裏面に貼り付け、ヘッドライト後方の穴に配線を通して下さい。
※少々水濡れは問題ありませんが、雨水が直接当たらない場所にスイッチ貼り付けて下さい。

【アドバイス】

オド台トリップの切り替えや、トリップのリセットでスイッチを使います。

配線を少しでもすっきりさせたい方は、ヘッドライト後方の穴の内側（指が届く場所）へ貼り付ける事も可能です。



⑤-1～⑤-2の配線接続作業後、逆の手順で再組み付けして下さい。

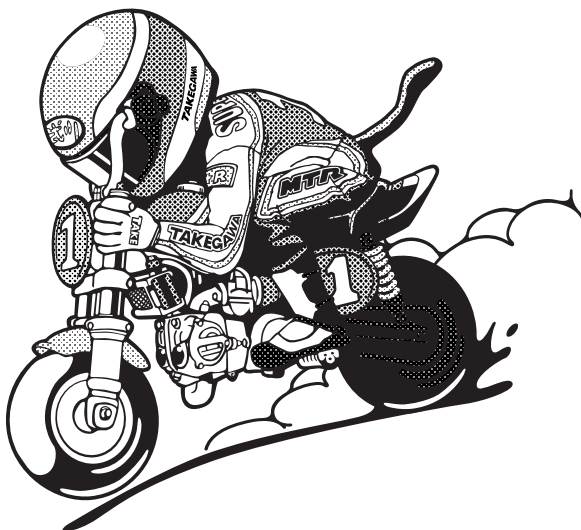
No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[01]	黒	電源（バッテリー付車：DC12V バッテリーレス車：AC12V）	[01]	Black	Power Input (DC12V/AC12V)
[02]	緑	メインアース（GND）	[02]	Green	Main GND
[03]	灰	フューエルセンサー入力（モンキーFIのみ対応）	[03]	Gray	Fuel Signal Input
[04]	茶	RPM信号入力（パルス）	[04]	Brown	RPM Signal Input (Pulse)
[05]	黄/黒	外部スイッチ入力	[05]	Yellow/Black	Separate Switch
[06]	黄/白	外部スイッチ入力（GND）	[06]	Yellow/White	Separate Switch(GND)

モデルにより配線図が異なります。
下の適合表をご確認の上[⑤-2 配線図一覧]に進み、作業を行って下さい。

	車種	エンジン仕様	電源	フレームNo.
A	12Vモンキー	キャブレター	12Vバッテリー	Z50J-2000001～
				AB27-1000001～1899999
	12Vゴリラ	キャブレター	12Vバッテリー	Z50J-2500001～
				AB27-1000001～1899999
				HC07-1600001～
	エイブ100	キャブレター	12Vバッテリー	HC13-1000001～
	エイブ100タイプD	キャブレター	12Vバッテリー	HC13-1000001～

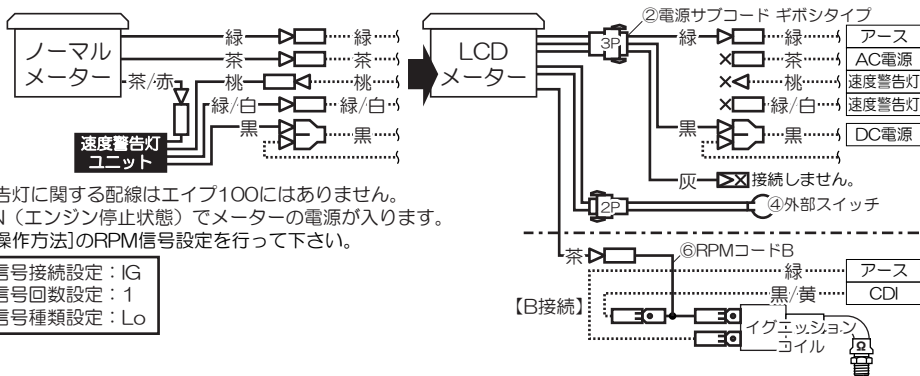
	車種	エンジン仕様	電源	フレームNo.
B	モンキーFI	インジェクション	12Vバッテリー	AB27-1900001～
	エイブ50FI	インジェクション	12Vバッテリー	AC16-1600001～
	エイブ50タイプD	インジェクション	12Vバッテリー	AC18-1000001～

	車種	エンジン仕様	電源	フレームNo.
C	エイブ50	キャブレター	バッテリーレス	AC16-1000001～1599999
	エイブ100	キャブレター	バッテリーレス	HC07-1000001～1599999

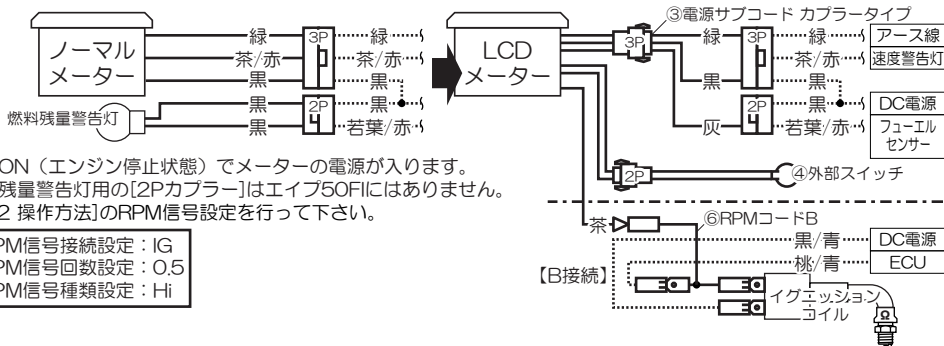


12Vバッテリー電源車

車種	エンジン仕様	電源	フレームNo.
A	12Vモンキー	キャブレター	12Vバッテリー
			Z50J-2000001～
			AB27-1000001～1899999
	12Vゴリラ	キャブレター	12Vバッテリー
			Z50J-2500001～
			AB27-1000001～1899999
	エイブ100	キャブレター	12Vバッテリー
			HC07-1600001～
	エイブ100タイプD	キャブレター	12Vバッテリー
			HC13-1000001～



車種	エンジン仕様	電源	フレームNo.
B	モンキーFI	インジェクション	12Vバッテリー
			AB27-1900001～
	エイブ50FI	インジェクション	12Vバッテリー
			AC16-1600001～
	エイブ50タイプD	インジェクション	12Vバッテリー
			AC18-1000001～



キーONだけで電源が入らない場合はバッテリーの劣化もしくは誤配線が原因です。完全に劣化しているバッテリーを使うと、高回転時に過電圧になるばかりか、過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。

[DC電源とは]

＝直流電源。キーON（エンジン停止状態）時からエンジン稼動中まで比較的電圧が安定しているバッテリー電源です。車体仕様差はありますが一般的なテスターで電圧を測定すると、キーON時12.5～13V前後、走行中は～14.5V前後となります。

※バッテリー付き車でも、エンジン始動に伴い電圧の発生する配線（ヘッドライトや尾灯）はAC電源となります。

[アドバイス]

エンジンを停止状態でブレーキランプを点け、さらにウインカーを点けて下さい。点滅速度が異常であればバッテリーが弱っています。

インジェクション車は【A接続】→【B接続】の順番で作動する方法を探して下さい。

1. 悪影響を及ぼす社外部品を使わないで下さい。

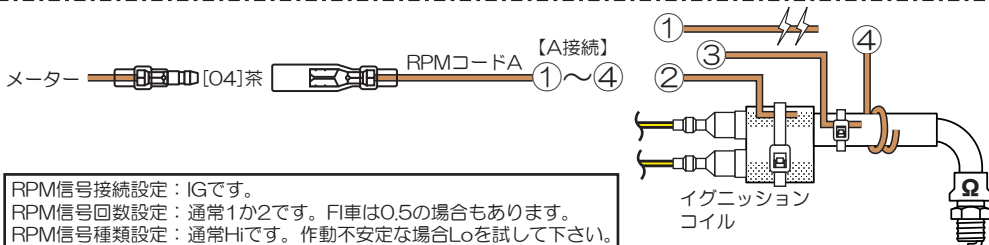
- スパーク力を強くすると、それに応じて点火ノイズも増大します。イグニッションコイルやハイテンションコード、プラグキャップ、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）、社外CDI等の改造が大きな悪影響となる場合があります。
- 点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に關係します。特にハイテンションコード表面の劣化&水濡れには注意して下さい。

2. 様子を確認しながら配線作業を行ってください。

- 信号を拾う方法は複数あります。面倒かと思いますが、必ず推奨の方法から順に試して下さい。タコメーターが正常に動く範囲で可能な限り悪影響の低い（信号電圧が低い、ノイズが少ない）方法を見つけて下さい。
- 信号を拾う方法と合わせて、メーター側の[RPM信号種類設定]の変更も試して下さい。

【A接続】①②③④RPMコードAの配線方法

プラグがスパークする際、ハイテンションコードやイグニッションコイルには非常に高い電圧が流れ、それを回路的に非接触で信号として拾います。



- 小 ①付近のフレームやカウルなど車体側にコードを貼り付けるとアンテナ状態で読み取ります。ノイズが強すぎて、下記
↑ 配線では表示が乱れてしまう場合があります。（読み取れない可能性があります。）
- ノイズ ②イグニッションコイルボディー表面に20mm程度コードを沿わせてタイラップ等で固定します。
（最も推奨の方法で、多くのバイクで信号を拾えます。）
- 影 ③ハイテンションコードに20mm〜30mm程度コードを沿わせてタイラップ等で固定して下さい。
響 保護チューブがある所の方が若干ノイズは小さくなります。付属の熱収縮チューブで配線処理を仕上げて下さい。
- 大 ④ハイテンションコードに巻き付け、発生した電気で信号を拾います。
↓ 最初は1回巻きから試し、指針が動かない時は巻き数を増やして下さい。数値が大きく暴れている場合は強いノイズ
の影響ですので、巻き数を増やしても直りません。最後に付属の熱収縮チューブで配線処理を仕上げて下さい。

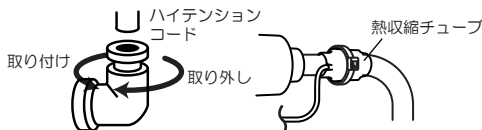
- ・まず②の方法を試して下さい。この方法で表示が不安定に乱れる場合は①の方法を試して下さい。数値が“0”のまま全く動かない場合は③→④と試していって下さい。
- ・②の方法で作動出来ない場合はノイズがかなり強いのか点火信号が特殊な可能性があります。また、バイク側部品の不具合も考えられますので、そちらのチェックも行して下さい。
- ・配線調整により、微妙な数値誤差が生じる可能性はほとんどありません。正常な数値を表示出来るか、出来ないかははっきりしています。

RPMコードの余分な部分はノイズ悪影響の原因にもなりますので、切断し丁度良い長さで取り付けして下さい。また、切断しすぎて長さが足りなくなった場合は市販のコードで代用出来ます。

- ・RPMコードAを絶縁テープなどで仮止めし、軽い空吹かしにて作動確認を行って下さい。

- 【A接続】の③や④でRPM信号入力を採用した場合、付属の熱収縮チューブを使い仕上げて下さい。
- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・熱収縮チューブをRPMコードAの上まで通し、ドライヤーなどで収縮させて下さい。
収縮温度：90℃以上、約50%の内径まで収縮します。【A接続】の③は配線が抜け易いので、タイラップ等で上からしっかり止めて下さい。
- ・最後にプラグキャップをしっかりと取り付けて下さい。

警告 ・RPMコードを仮止めた状態で“実走行”は危険ですのでお止め下さい。



【B接続】RPMコードBの配線方法

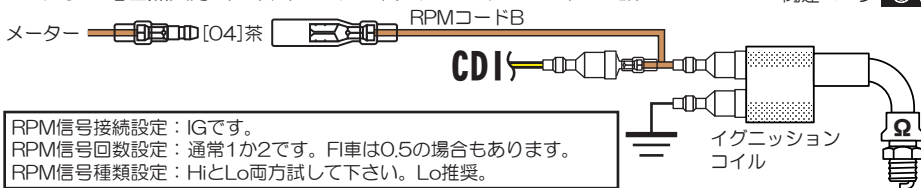
- ・イグニッションコイルの1次側に配線を割り込ませて、直接信号を拾う方法です。プラス電圧点火方式とマイナス電圧点火方式の2種類あり、それぞれで接続箇所が異なります。
- ・【B接続】はバイクの高電圧部に配線を直接接続するので、【A接続】や【C接続】と比較すると、想定外の外品点火装置などからの悪影響をそのまま受けてしまいます。他の方法で作動しない場合、最後に試して下さい。

※メーター故障が起こり易い接続方法という訳ではありません。他の方法と比較すると、順番的に最後に行って頂きたい接続方法です。

- ・メーカー発行の配線図で、イグニッションコイルに接続されている配線が1本（ボルト固定部がアースを兼ねる）、または、2本でもその片方がアース源であれば上図（プラス電圧点火方式）になります。ほとんどのキャブレター車がこの方式です。
- ・メーカー発行の配線図で、イグニッションコイルに接続されている配線が2本あり、その内の片方がDC12V電源であれば下図（マイナス電圧点火方式）になります。ミニバイクではモンキーFIやエイフFI、アドレスV125GK9以降がこの方式です。インジェクション車に多い方式です。

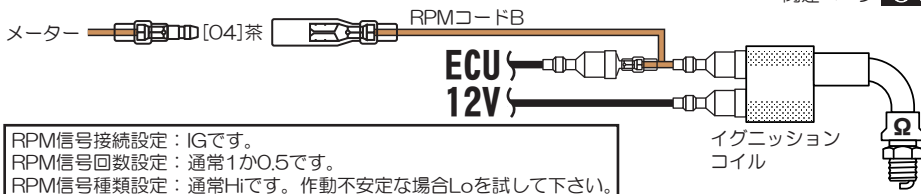
プラス電圧点火方式（キャブレター車、インジェクション車の一部）

関連ページ **⑥-2 操作方法**



マイナス電圧点火方式（インジェクション車）

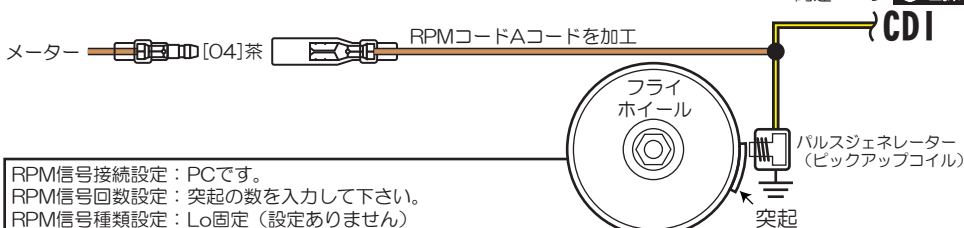
関連ページ **⑥-2 操作方法**



【C接続】RPMコードの配線方法

- ・C接続はピックアップ信号線から分岐します。点火タイミング用ですので電圧やノイズが小さく、メーターへ悪影響の低い信号です。
- ・ピックアップコイル（パルスジェネレーター）がフライホイール外側にあるバイク用です。CDI点火初期のモデルに多い、独立したピックアップコイルが無い（点火コイル電圧の一部をピックアップ信号として使用している）バイクや外品インナーローターでは電圧が高過ぎる可能性があるので接続しないで下さい。
- ・フライホイール外周にある突起の数が20個まで対応します。（不等間隔対応）

関連ページ **⑥-2 操作方法**



RPM信号回数設定の例





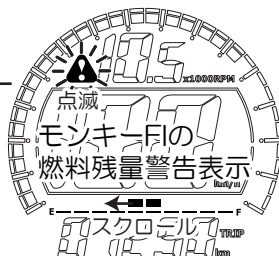
関連ページ

スピードメーター	最高表示199km/h メーターケーブルの逆回転（左回り）対応。
オドメーター	～99999km（1km単位）
トリップメーター	～999.9km（100m単位）
速度補正設定	速度表示の[ズレ]を補正可能。設定範囲：50～210% ⑥-2

数値式タコメーター	電気式、最高19900rpm、100rpm単位
ステップ式タコメーター	電気式、最高15000rpm、500rpm単位
RPM信号設定	[RPM信号接続設定][RPM信号回数設定][RPM信号回数設定] RPM信号入力に関する各種設定機能を備えています。 ⑥-2
3WAY RPM信号入力	3種類の異なるRPM信号の読み取り接続可能。 [A接続][B接続][C接続] ⑥-3

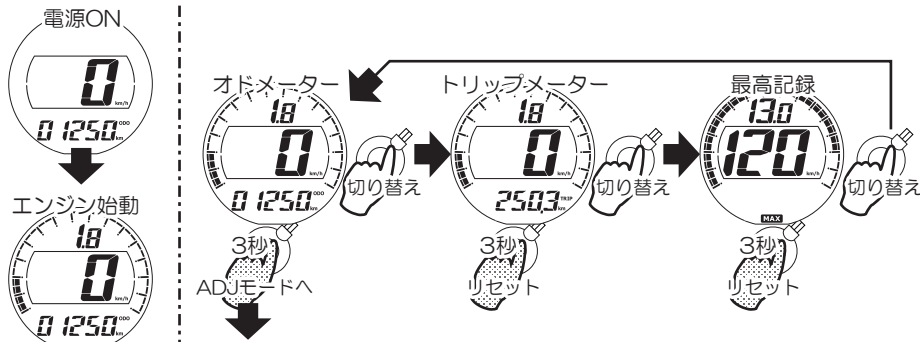
最高記録	スピードメーターとタコメーターの最高値を記録。
燃料残量警告表示	モンキーFIの燃料残量警告灯をメーターに内蔵 LCDに警告表示します。 (モンキーFI以外の車両では使用出来ません。) ⑤-2
バックライト	ホワイトLED、5段階の明るさ調整付き。発光ムラが少なく、視認性に優れています。 ⑥-2

- ・ 内蔵電池を必要としないフラッシュメモリー式で長期間、電源OFFでも各種記録を維持します。
- ・ DC12V電源、AC12V電源どちらでも作動可能。
- ・ 作動電圧範囲：DC/AC8V～16V
バッテリーレス車において、低回転時でも作動するために最低作動電圧を低めに設定。ただし、最低電圧付近では液晶文字濃度やバックライトが薄くなります。
- ・ 純正メーターの照明用バルブ（2W）よりも電力消費量が少なくなります。
メーター本体消費電力：※約1.3W（13V100mA）※バックライト最高輝度時
バックライト輝度を1つ下げる毎に約～12.5mA。（最小値約50mA）



メーター起動

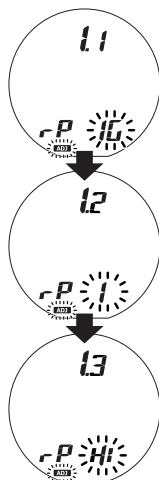
- バッテリー電源車はキーONで、バッテリーレス電源車は、エンジン始動に伴い電源が入ります。
- 前回OFFにした時のモードで起動します。
- エンジン始動（＝RPM信号入力）に伴いタコメーター表示が現れます。
- スイッチを押すと画面下部がオドメーター→トリップメーター→最高記録→オドメーター・・・に切り替わります。
- トリップメーター表示中、スイッチを3秒以上長押しして距離をリセット。
- 最高記録表示中、スイッチを3秒以上長押しして距離をリセット。



ADJモード

- 各種設定値の変更、調整を行うモードです。
- オドメーター表示中にスイッチを3秒以上長押ししてADJモードに入ります。
- スイッチ短押し（3秒以下）：設定値変更
- スイッチ長押し（3秒以上）：次項目に進む（長押しを続けると項目の自動送り）

1.1	RPM信号接続設定	RPMコード接続先の種類	IGモード、PCモード
1.2	RPM信号回数設定	クランクシャフト1回転あたりの信号回数	IGモード時：0.5回、1～6回 PCモード時：1～20回
1.3	RPM信号種類設定	読み込みプログラムの種類	IGモード時：Hi 又は Lo PCモード時：Lo固定
2.1	速度補正設定	補正值を入力	×100%
2.2		JIS規格標準値：100%	×10%
2.3		調整範囲：50%～210%	×1%
3	バックライト設定	バックライトの輝度を調整	1～5（5：最高輝度）



1.1 RPM信号接続設定

RPMコード接続先の種類

IGモード（イグニッションコイル接続）
PCモード（パルスジェネレーター接続）

この値により[1.2]と[1.3]の設定範囲が変化します。



1.2 RPM信号回数設定

クランクシャフト1回転あたりの信号回数

IGモード時：0.5回、1～6回
PCモード時：1～20回

1.3 RPM信号種類設定

読み込みプログラムの種類

IGモード時：Hi 又は Lo
PCモード時：Lo固定

配線図 標準設定値

A	RPM信号接続設定：IG RPM信号回数設定：1 RPM信号種類設定：Lo
B	RPM信号接続設定：IG RPM信号回数設定：0.5 RPM信号種類設定：Hi
C	RPM信号接続設定：IG RPM信号回数設定：1 RPM信号種類設定：Lo

関連ページ ⑥-2 配線図一覧

[1.1]でPCモード選択時はLo固定となる為、
[1.3]設定画面に入らず[2.1]に進みます。

次ページに続く

⑥-2 操作方法

前ページの続き



2.1～2.3 速度誤差補正

補正値を入力

調整範囲：50%～210%
JIS標準値：100%

[2.1]×100%、[2.2]×10%、[2.3]×1%



●国内車輛はJIS規格によりケーブル回転数が1400rpm時60km/h（＝ケーブル1回転あたり714mm進行）と定められており、本製品はこの値を100%とし50%～210%の範囲で補正出来ます。

・値を増やすと表示速度が上がり、減らすと表示速度が下がります。例）タイヤが5%大きくなったら設定値は105%

補正不要	●ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合 ●ホイールのインチ変更する場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用する場合
補正必要	●メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合 ●外品のインチアップホイールに交換した場合やタイヤサイズを変更した場合

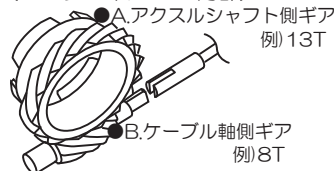
現在使用しているメーターギアとタイヤ周長から割り出す方法

（メーターギアBOX内部）

- 1.メーターギアを分解してギア山数を数えます。
- 2.ギア山数から[C.標準タイヤ周長（mm）]を算出します。

$$\frac{\text{A.アックスルシャフト側}}{\text{B.ケーブル軸側}} \times 714 = \text{C.標準タイヤ周長}$$

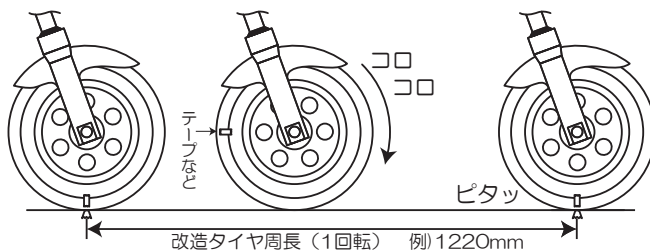
例) 13(T) ÷ 8(T) × 714 ≒ 1160(mm)



注意 ※分解時に破損の恐れがあります。
十分に気を付けて作業を行って下さい。

- 3.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離[D.改造タイヤ周長]を測ります。

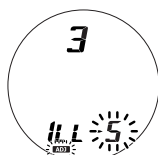
ギアボックス種類	モンキー ノーマル	武川 10インチ用
A.アックスルシャフト側	13T	17T
B.ケーブル軸側	8T	9T
C.標準タイヤ周長	1160mm	1349mm



- 4.[C.標準タイヤ周長]と[D.改造タイヤ周長]から速度[補正値]を割り出します。

$$\frac{\text{D.改造タイヤ周長}}{\text{C.標準タイヤ周長}} \times 100 = \text{補正値 (\%)}$$

例) 1220(mm) ÷ 1160(mm) × 100 ≒ 105(%)



3 バックライト設定

バックライトの輝度を調整

調整範囲：1～5
最高輝度：5

